

鉄斎

ぶんじん
文人多癖

2018年9月11日[火]—11月25日[日]

前期：9月11日(火)～10月14日(日) 後期：10月20日(土)～11月25日(日)
学芸員による展示説明会：9月22日、10月6日、27日、11月10日 各土曜日 午後1時30分より

開館時間：午前10時～午後4時30分(入館は午後4時まで)
休館日：11月曜日、ただし9月17日、24日、10月8日は開館、翌日休館
入館料：一般300円、高大生200円、小中生100円

※老人・障害者手帳を提示の方、各々半額とします。



清荒神清澄寺

鉄斎美術館

TESSAI MUSEUM

〒665-0837 兵庫県宝塚市米谷字清シ一番地 清荒神清澄寺山内
TEL. 0797-84-9600 FAX. 0797-84-6699 <http://www.kiyoshikojin.or.jp>



文人多癖印譜 1914年 79歳

「癖(へき)」とは、特定の嗜好物に対する異常な執着、偏愛のことをいい、言いかえるとすれば、マニアやオタクにあたります。中国の文人たちの癖好のあり様は、今なお語り継がれるところですが、なかでも王羲之の鶯癖、陶淵明の菊癖、李白の酒癖、陸羽の茶癖、蘇東坡の談鬼癖、米芾の石癖、倪瓚の潔癖などが有名です。

若い頃より中国の文人世界を憧憬してやまなかった近代文人画の巨匠・富岡鉄斎(1836～1924)もまた、癖好の士として知られています。書癖、考証癖、茶癖、煙霞癖(旅行癖)、富士癖、東坡癖、金石癖、印癖、墨癖などは、鉄斎の人生のうえで欠くことのできない事柄です。そして何より学問は、学者をもって任じた鉄斎にとって、自らを娛ませる第一の「癖」であったといえるでしょう。

本展では、鉄斎が中国の文人や日本の畸人たちの非凡な精神に学び、のめり込んだ癖好のあり様を、多彩な作品を通してご覧いただきます。富士癖の集大成である《鎮国山帖》(初公開)、《富士山図》屏風、鉄斎のアイドル・蘇東坡に取材した《東坡談図》、《蘇子談癖図》、《貽笑墨戲帖》といった代表作を中心に、愛蔵本もあわせて紹介します。



東坡談図のうち 1918年 83歳

【お知らせ】

- 11月17日(土)、18日(日)は「関西文化の日」に参加しています。(入館無料)
- 2018年11月26日(月)より、鉄斎美術館「聖光殿」は資料整理のため、休館期間に入ります。展覧会は別館「史料館」でお楽しみください。

鉄斎美術館次回展覧会

「鉄斎の七福神」

2019年1月5日(土)～4月1日(月)
※会場は鉄斎美術館別館「史料館」(入館無料)

鉄斎美術館・宝塚市立中央図書館聖光文庫共催企画

第7回聖光文庫文化講座

2018年12月2日(日) 午後1時30分～4時

第1講「鉄斎の絵と鉄斎ゆかりの敦煌古書

—杏雨書屋の所蔵品から—

東野治之氏 (武田科学振興財団 杏雨書屋館長)

第2講「京都の近代—美術工芸を中心に—」

並木誠士氏 (京都工芸繊維大学教授・同大学美術工芸資料館長)

会場：宝塚市立中央図書館(聴講無料)

申込み：0797-84-6121

鉄斎美術館・宝塚市立中央図書館聖光文庫共催企画展

「富岡文庫の世界—鉄斎・謙蔵父子の愛蔵本—」

2018年12月2日(日)～2019年2月7日(木)

開室時間：午前10時～午後5時

休館日：水曜、第2金曜、年末年始(12月29日～1月3日)

会場：宝塚市立中央図書館聖光文庫(入場無料)



【交通案内】

- 阪急電鉄を利用の場合……宝塚線清荒神駅下車、徒歩約20分(タクシー利用の場合は宝塚駅下車)
- JRを利用の場合……宝塚線宝塚駅下車、タクシーで約10分
- 車を利用の場合……国道176号線、宝塚歌劇場前交差点を北へ約2km 約380台駐車可能な清荒神清澄寺の無料駐車場あり



清荒神清澄寺

鉄斎美術館

TESSAI MUSEUM

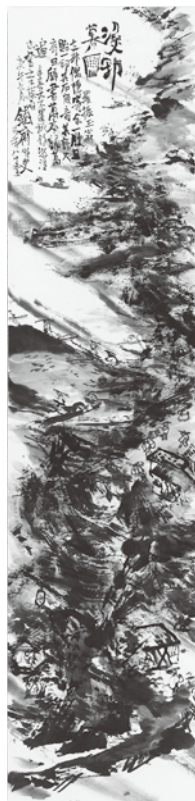
〒665-0837 兵庫県宝塚市米谷字清一 番地 清荒神清澄寺山内
TEL. 0797-84-9600 FAX. 0797-84-6699 <http://www.kiyoshikojin.jp>



蘇子談癖図 1921年 86歳



赤壁四面図 1922年 87歳

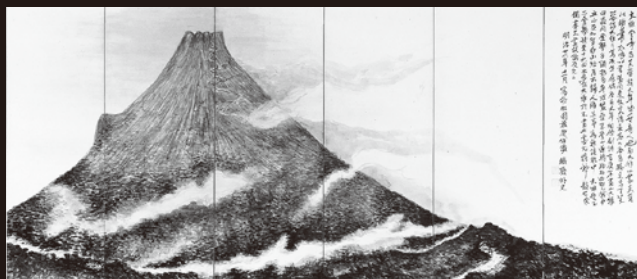


漁村暮雨図 1920年 85歳

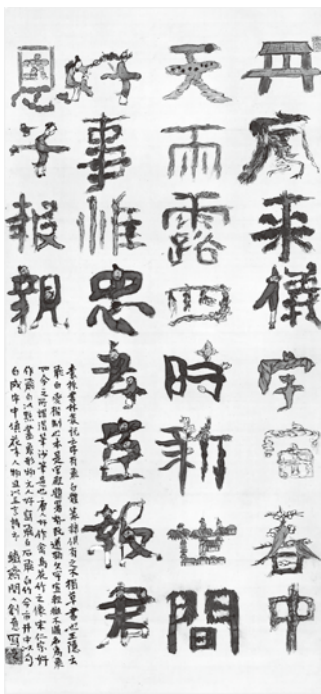


陽逸畸人図 1868年 33歳

後期特別展示



富士山図 1898年 63歳



勾白字詩七絶 明治時代 60歳代